

2018
June

6

VOL.12

ガバナー一月信

Contents

ガバナーメッセージ	1
川瀬年度地区研修・協議会報告	2
米山オリエンテーション報告	3
青少年交換学生 オリエンテーション報告	4
地球環境保全のための植樹事業	
下越地区 報告	5
全国青少年交換研究会報告	7
新潟中央RC 創立 25 周年記念式典報告	8
新津中央RC 創立 40 周年記念式典報告	9
6月地区の予定/新会員/訃報	10
会員数及び出席報告	11
コーディネーターニュース	12
ハイライトよねやま	13
文庫通信	15



ロータリー:
変化をもたらす

Rotary



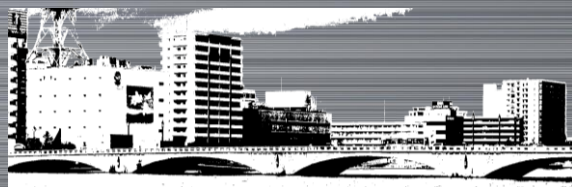
国際ロータリー 第 2560 地区 2017-2018 年度

新保ガバナー事務所

〒951-8053 新潟市中央区川端町 6-53 ホテルオークラ新潟 1F

TEL:025-222-2561 FAX:025-222-2565

E-MAIL k.shinbo@rid2560niigata.jp





御 礼

2017-2018 年度 ガバナー
新保 清久 (新潟万代R C)

RI 第 2560 地区ロータリアンの皆様、1 年間お世話になり大変有難うございました。

平成 27 年 10 月のノミニー就任以降は、あっという間の 2 年半でしたが、地区内外の多くのロータリアンとの出会いや数々の感動的な経験などロータリーの素晴らしさを感じることができました。

ガバナー主催の 4 大会の PETS, 地区研修協議会、地区大会、地区ゴルフ大会では、関係各位の並々ならぬ熱意とご協力により成功裡に終了することができました。

ガバナー公式訪問では、クラブが取り組んでいる立派な奉仕活動の数々をお聞かせいただき感心いたしました。

またガバナー歓迎懇親会では、会員の皆様と時間を忘れるほど楽しく、親睦、交流を図ることができました。皆様のご厚意に感謝申し上げます。

地区は、会員基盤の強化を目指して会員増強委員会主催で 2 回セミナーを開催しました。

2840 地区の水野 PG 様、2750 地区の市川 PG 様から会員増強や退会防止には、クラブ戦略計画、女性会員、若い会員の入会の必要性や楽しいクラブ運営の要点等を具体的に教えていただきました。

社会奉仕委員会主導でイアン・HS ライズリー RI 会長の地球環境の保護という提言により、会員数分の 2100 本の植樹事業に取り組み、多くの会員からご参加いただきました。

多発する自然災害に対しては、昨年 7 月の九州北部豪雨災害の際には、会員からの寄付金 250 万円を 2700 地区（福岡）に、また今年 2 月の台湾東部地震には、地区の災害特別基金から 100 万円を日本の 34 地区合同で台湾に送金しました。

ロータリー財団の地区補助金決定の会議では、各委員の真剣で白熱した議論に驚きました。

ロータリーは、50 年以上にわたり、青少年交換、インターアクト、ローターアクト、RYLA などの次代を担う青少年の育成に取り組んでまいりましたが、外国人留学生を支援する米山奨学事業も合わせてロータリーの青少年への教育的プログラムの重要性と担当委員会の献身的な活動に感銘を受けました。

米山、財団奨学生、平和フェローを含めて青少年への支援は、必ずや、数年後、数十年後に国際親善、国際理解、世界平和に役立つものと信じております。

今年度の地区目標は、いくつかの項目で届きませんでした。川瀬年度、大谷年度には、是非とも達成できればと願っています。

結びになりますが、RI 第 2560 地区並びにクラブの皆様のますますのご発展、ご健勝を祈念して御礼とさせていただきます。

以上

地区研修・協議会の御礼

国際ロータリー第2560地区
地区研修・協議会実行委員長
荻根澤 隆雄（三条RC）

2017年5月19日(土)、県央の燕三条地場産業振興センターにて総勢685名が集い国際ロータリー第2560地区2018-2019年度地区研修・協議会を田中地区研修リーダーの指導と川瀬ガバナーエレクトの指揮のもとで開催されました。お越しの皆様におかれましては、あいにくのお天気で肌寒さを感じながらの会場入りであったかと思えます。ご来場に心より感謝を申し上げる次第です。

新保ガバナーはじめ多くの地区役員のご来臨を頂きました事、改めて御礼を申しあげます。午前の全体会議での基調講演「会員増強のための戦略計画」と題して水野功様よりお話を頂きご参加の皆様は大いに感銘を受け、勇気づけられ励みに繋がった事と存じます。午後は第1セッションから第5セッションと会場を変えて行われました。その後にセッション発表、研修リーダーの講評と進み全体会議閉会の後、懇親会に移りました。ご参会の皆様のご協力のお蔭で何とか地区研修協議会も閉じることが出来ました事に実行委員会を代表致しまして感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



水野 功 講師

本地区研修協議会の運営では地区の関係各位の皆様はじめコ・ホストクラブの三条南RC・三条北RC・三条東RC会員よりご支援、ご協力を頂きました事に本紙面をお借り致し心より感謝を申し上げます、誠に有り難うございました。





米山記念奨学生オリエンテーション・歓迎会のご報告

米山記念奨学委員会
奨学生選考委員長
若山 良夫（新潟南RC）

2018学年度米山記念奨学生のオリエンテーションと歓迎会が、新保ガバナー及び川瀬ガバナーエレクト、さらに公益財団法人ロータリー米山記念奨学会評議員でもある石本PGにご列席頂き、米山記念奨学生とカウンセラー、学生の担当教員を含め総勢75名の方々をお迎えして平成30年4月21日（土）ANAクラウンプラザホテル新潟にて開催されました。

オリエンテーションの最大の目的は、奨学生に米山記念奨学生としての責任を理解してもらい、その上で5項目に渡る確約事項に同意した上で承諾の署名をし、正式な米山記念奨学生と承認される事にあります。その前段としてロータリーとは、奨学会とは、ロータリーの組織について、そして米山記念奨学会の特徴を学んでもらい、私たちロータリアンがどのような想いを持って米山へ寄付をし、また学生に期待をしているかを説明しました。確約事項は奨学生としての義務を示したもので、それに承諾して初めて正式な米山記念奨学生と認められます。無事に18人の学生全員の確約を得て、学生たちには米山記念奨学生の証である桜のバッジを授与しました。

その後は歓迎会に移りました。当日は上記のとおり正式な米山記念奨学生となる重大な事業の他に、学生とカウンセラーの初対面という大事な場でもありました。学生もカウンセラーも、少しの緊張と大きな期待を持って初対面を迎えましたが、そこは数々の場数を踏んでいるロータリアンです。すぐに学生とも打解け大変賑やかな歓迎会となりました。奨学生をお引き受け下さいました世話クラブとカウンセラーの皆様には心からの感謝を申し上げます。奨学生にとってこれからの奨学期間は一生の中でも他に替えられないほどの貴重な時間となることでしょう。奨学生は色々と未熟ではありますが、経験豊富なロータリアンの皆様の導きによって大きく羽ばたくことを期待しております。そして彼らが将来日本と母国、または諸外国との懸け橋となる人財になる事を心から祈念して報告とさせていただきます。





2017～2018 年度

4 月開催第青少年交換オリエンテーション報告

青少年奉仕委員会
 ローターアクト委員長
 本間 長市（新潟南 R C）

第 2560 地区青少年交換委員会主催の交換留学生オリエンテーションが 4 月 29 日（日）にクロスパル新潟で開催されました。ゴールデンウィーク中にもかかわらず新保清久ガバナーをはじめ、石本隆太郎危機管理委員長にもご出席頂き総勢 40 名の参加となりました。

第一部では、本間啓介委員長より YESS へのログイン方法を次年度の短期派遣学生 5 名、長期派遣学生 4 名に伝え、派遣学生全員がログイン出来ました。次に参加頂いたクラブ関係者 10 名にも伝え、ホストファミリー情報などの未入力項目の入力をお願いしました。その後石本危機管理委員長より、ご自分のお子様の留学体験を交えアドバイスを頂戴致しました。

第二部では、今年度の受け入れ学生 3 名より関西研修旅行の報告を写真付きで発表して頂きました。3 人とも来日して 8 ヶ月になりますので、流暢な日本語で発表出来ました。



第三部では、学生・ROTEX（以前派遣した学生）・保護者・クラブ関係者・地区担当委員が 4 つのグループに分かれテーブルディスカッションを行いました。グループディスカッションでは書類の確認と渡航までの今後の予定を確認した後、語学以外で努力している事を学生から聞いたり、保護者や学生から今、不安な事を話して頂き ROTEX と共に少しでも不安が解消できるように話し合いをしました。

第四部では、短期派遣学生及び長期派遣学生から英語で自己紹介や日本の良さをプレゼンテーションをして頂き、今後の改善点などを指摘しました。

次年度派遣学生のオリエンテーションは今回で 3 回目となりますので、英語でのプレゼンテーションは、かなり上達し完成度の高いものになってきました。

各クラブ関係者の皆様には常日頃より青少年交換にご協力とご理解を賜りまして大変ありがとうございます。今後とも、よろしくお願い致します。





国際ロータリー第 2560 地区

「地球環境保全のための植樹事業（下越地区）」

社会奉仕委員会
委員

田鹿 紀之（新潟南RC）

今年度国際ロータリー事業として実施しております、「地球環境保全のための植樹事業」において、下越地区で2か所実施いたしました。

5月12日（土）には、グリーンパークあらかわ総合運動公園において「にいがた緑の百年物語緑化推進委員会」主催の「第16回育樹を通じ、自然を学ぶ日」事業に参加いたしました。

当地で毎年開催されているこの事業は今年で16回目を迎え、村上市内の小学生や少年団、また一般参加者など、総勢300人規模で行われている地域に根付いた事業です。



RI第2560地区としては本事業に300本の樹木を寄贈し、新保ガバナーはじめ下越地区クラブを中心に参加したロータリーメンバー51名とともに、ツバキ、サクラなど50本を植樹し、地域活動のお手伝いをすることができました。

また5月26日（土）には、新潟市西区の青山海岸でハマヒルガオ、ハマゴウ1,000株の植栽を行いました。

この青山海岸は、グリーン産業株式会社様（新潟市中央区神道寺、代表荒川義克様）が「企業の森づくり」活動において、『はまみどりマット』を用いた「在来植物による飛砂防止緑化」に取り組んでおられる地域です。

当日はロータリーメンバー130名、ガールスカウト新潟県連盟27名が参加し、グリーン産業様があらかじめ砂の中に埋め込んでいただいた『はまみどりマット』の上に、スコップで穴を掘り、ポットから取り出した苗を丁寧に植えこみました。



素晴らしい青空の下、海からの清々しい風を受け1,000株の苗をうえた皆様の満足そうな笑顔が印象的でした。

グリーン産業様にはRI第2560地区の活動にご理解を頂き、その事業の一端に加えていただきましたこと、また当日は社長様はじめ

大勢の社員の方々にもお手伝いいただきましたことに感謝申し上げます。

今年度 RI 会長の方針により第 2560 地区事業として取組みました「地球環境保全のための植樹事業」は、新潟県内 4 か所で約 2,100 本の植樹、植栽を実施することができました。

ご参加いただきましたロータリーメンバーのみなさまのご協力に感謝申し上げます。

皆様が植えていただいた樹木、苗がすくすくと育ち、地域に緑と潤いをもたらしてくれることを祈念いたします。

ありがとうございました。



5月12日 グリーンパークあらかわ総合運動公園にて



5月26日 青山海岸にて



第 23 回 RI 日本青少年交換研究会千葉会議

に参加して

青少年奉仕委員会
ローターアクト委員長
本間 長市 (新潟南 R C)

毎年行われている日本青少年交換研究会が、本年は 5/12～13 の二日間にわたり千葉県千葉市の幕張メッセ国際会議場で開催されました。

この会議に参加したメンバーは、現在日本各地に海外から来日しているインバウンド学生、次年度にアウトバウンドとして世界各国に留学予定の学生、過去に青少年交換で留学した経験のある ROTEX、各地区の青少年交換委員及び事務局の方が参加しました。

開会に先立ち、NPO. 国際ロータリー日本青少年交換委員会の舟木いさ子理事長にご挨拶を賜り、その後他地区合同認証伝達式を行いました。

基調講演として第 2580 地区の水野正人パストガバナーより「青少年交換プログラムとオリンピック・パラリンピックの夢」と題して、夢を持つことの大切さなどを講和して頂きました。

その後は三つの分科会に分かれ、第一セッションでは青少年交換プログラム会議として、各地区の交換プログラムの実例を発表して頂き、効率的で効果的な委員会運営の手法を学ぶ場となりました。第二セッションでは危機管理委員長会議として、講師に元防衛大臣の森本敏氏に「日本を取り巻く国際情勢と危機管理」と題して、現在の緊迫した世界情勢や裏話などをご講和頂きました。第三セッションでは ROTEX 会議としてホストファミリーとのディスカッションを行いました。

二日目は全国青少年交換委員長会議として、現在の RI 青少年交換委員会 (RIJYEC) が一般社団法人 RI 日本青少年交換他地区合同機構 (RIJYEM) へ数年間かけて移行する経緯を丁寧に説明して頂きました。その後、第 2560 地区の本間啓介青少年交換委員長より YESS のバージョンアップについての話が有り、よりシステムの向上と使い勝手の良さをアピールできました。

本会議では台湾・ブラジルの良さをそれぞれアピールし、より多くの方々に交換留学を検討して欲しい旨の説明が有りました。またドイツから来日しているトーマスも 2019 年の国際大会がドイツで開催されるので大勢の方々の参加を望んでいるとのお願いをしました。

その後は各分科会での会議の報告が、それぞれ発表されました。

今回の研修は、群馬の留学生と一緒にバスでの移動となり、宿泊先も同じだった為、より多くの留学生と接する事ができ、留学生にとっては友人が増え忘れられない思い出になったようです。帰りのバスでは学生達の別れを惜しむ姿が、今でも目に焼き付いています。

これからも留学先で多くの文化を学び、より成長し国際交流をしながら親善大使の役割を果たして欲しいと願っています。



「感謝と交流」の創立 25 周年記念式典を終えて



新潟中央 RC
会長
山宮 典浩

去る 4 月 21 日新潟中央 RC は、多くのご来賓と国内外の姉妹クラブ・友好クラブの皆様、そして親愛なる第 2560 地区第二分区の皆様を、例会場である ANA クラウンプラザホテルにお招きし楽しく意義のある創立 25 周年記念式典を無事終えることができました。クラブ会員を代表し、心からお礼申し上げます。

私どもは「感謝と交流」をテーマとしてこの度の式典を企画いたしました。新潟中央 RC を育み見守ってくださった皆様が一堂に会し、ロータリー活動のパワーの源である「交流」を深めるきっかけとさせていただければ、という思いからです。

スポンサークラブ・チャーターメンバーなど当クラブのルーツに対する感謝、国内外の交流を持ってくださったロータリアンの皆様への感謝、我々の活動を理解し支えてくれる家族への感謝、この 25 年の間にご縁をいただいたすべての皆様に、心からの感謝の気持ちを込めて出席くださった皆様をお迎えいたしました。

また、この感謝の思いを具現化するために 25 周年記念事業として 2 つの事業を実行できました。ロータリー財団グローバル補助金を申請し、多くの賛同クラブ・地区幹部の深いご理解のもと実現したタイ国医療後進地域への人工透析器寄付、そしてフットサルを通じ青少年育成に尽力している新潟県フットサル協会新潟県選抜チームへのサポートです。この活動を通じて、国を超えた新たなご縁と交流が生まれました。

式典では、クラブの歩みと共にこれらの活動をご紹介し、その後の記念パーティーでは明るく和やかな交流の輪が各テーブルに広がり、その皆様の素晴らしい笑顔が今も脳裏から離れません。

新潟中央 RC は、25 年間の感謝の心を常に大切にし、今後も好意と友情をはぐくみ、ロータリークラブの意義を未来に繋げてまいります。



心を込めて





「新津中央RC 創立40周年記念式典」報告

『おかげさまで40周年新たな時代へ出発進行!!』

新津中央RC
会長
目黒 正文

5月20日(日)新潟薬科大学新津駅東キャンパスにて記念式典を、向かいの新津地域交流センターにて祝賀会を開催致しました。

1. 記念式典

記念事業

① 社会奉仕事業として

新津丘陵西山三山観光情報連携発信事業 案内看板設置

15基を新潟市秋葉区へ寄贈

② 公益財団法人 ロータリー日本財団へ寄付 1,000\$

③ 公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会へ寄付 壱拾萬円

④ 「パリに生きる新潟の作家たち」展覧会へ寄付 壱拾萬円

2. 記念講演

「北野家の訓え」 秋草学園短期大学学長 北野 大様

3. 祝賀会

記念アトラクション「バイオリン・ピアノ演奏」

バイオリン：新潟市秋葉区役所地域総務課主査 白井 麻也様

ピ ア ノ： ピアニスト 佐藤有里子様

北野 大 様



新津中央RCは、1978年10月12日 国際ロータリーに加盟承認され、野本幸一初代会長のもと、32名のチャーターメンバーで発足いたしました。スポンサークラブは新津RCです。

以来、地域の皆様の暖かいご理解とご支援のもと活動し、おかげさまで創立40周年記念式典を開催することができました。記念講演では、秋草学園短期大学学長 北野 大先生に「北野家の訓え」を演題に、ご講演いただきました。「実ほど頭を垂れる稲穂かな」など5つの訓えをいただき、あたりまえの事をあたりまえに行う事が大切であり、あたりまえの事は、時・場所・場合によって変わり、あたりまえに行う事は難しいものとの訓えを受けました。祝賀会では、会場の移動などあり、ご不便をおかけしましたが、記念アトラクションの白井さん、佐藤さんの素晴らしいバイリン・ピアノ演奏で始まり、盛会で終了することができました。有難うございました。ご多用のなか、ご臨

席を賜りました多くの皆様に心から感謝申し上げます。「おかげさまで40周年新たな時代へ出発進行!!」をテーマに、未来に向け時代の潮流、地域の環境の変化をしっかり捉え、会員一同心をひとつに活動して行きます。今後ともよろしくお願い致します。



☆創立記念寄付☆ (ロータリー財団・米山記念奨学会)

新潟東 RC 創立 60 周年 2018 年 4 月 7 日(土)
 新津中央 RC 創立 40 周年 2018 年 5 月 20 日(日)
 新潟万代 RC 創立 25 周年 2018 年 6 月 4 日(土)

ご寄付いただき
 ありがとう
 ございました。

6 月地区の予定 【ロータリー親睦活動月間】 (RI レート:\$1=¥110)

2018 年 6 月		地区主要行事	会場
4	(月)	新潟万代 RC 創立 25 周年記念式典	ホテルオークラ新潟
9	(土)	青少年交換 派遣学生壮行会・受入学生歓送会	ホテルオークラ新潟
16	(土)	三条南 RC 創立 50 周年記念式典	ジオ・ワールドVIP
17	(日)	ロータリー財団 学友会総会	ホテルイタリア軒
23-27	(土・水)	RI 国際大会	カナダ、トロント
30	(土)	地区諮問委員会・新保年度感謝の集い	ホテルオークラ新潟

新入会員 紹介 (敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	職業分類
新発田	阿部 正明	2018. 5. 14	岡三にいがた証券(株)新発田支店	証券業
加茂	横田 博文	2018. 5. 10	三井生命保険(株)加茂営業部	生命保険
三条南	塩入 栄助	2018. 4. 2	(株)共栄堂 けんおう調剤薬局	調剤薬局
柏崎東	杉田 淳	2018. 4. 1	(株)長谷川自動車	自動車修理
柏崎東	田村 英樹	2018. 4. 16	岡三にいがた証券(株)柏崎支店	証券業
柏崎中央	石川 清登	2018. 4. 3	東京電力ホールディングス(株)	電気事業
津南	藤ノ木 健	2018. 4. 1	(有)藤ノ木建設	建設業
高田	神田 和明	2018. 4. 6	(株)岩の原葡萄園	葡萄酒製造
高田	宮川 大樹	2018. 4. 6	農業	農業
高田	木村 隆	2018. 4. 20	(株)新潟日報社 上越支社	新聞発行
高田	葛西 弘	2018. 4. 27	岡三にいがた証券(株)上越支店	証券業
直江津	布施 和義	2018. 4. 3	(株)布施鉄工所	機械部品加工

訃報

三条 RC 捧 賢一 様 逝去日：2018 年 5 月 8 日
 (株)コメリ 会長 三条 RC 第 40 代会長

心よりご冥福をお祈りいたします。



第2560地区 2017-18年度 4月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	4月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	／	85.02	364	379	36	15
新発田	4	97.86	93	96	0	3
村上	3	88.29	37	37	9	0
水原	4	81.37	27	28	0	1
中条	4	91.49	34	36	3	2
新発田城南	4	78.48	41	42	3	1
豊栄	4	84.62	26	26	3	0
新発田中央	4	86.08	45	50	5	5
中条胎内	4	83.79	33	37	7	4
村上岩船	4	73.21	28	27	6	-1
第2分区(9クラブ)	／	85.73	441	443	20	2
新潟	4	89.35	86	87	0	1
新潟東	3	89.13	62	60	8	-2
新潟南	4	83.74	99	105	2	6
佐渡	4	85.70	7	7	0	0
新潟西	4	78.70	41	39	1	-2
佐渡南	4	90.79	41	41	4	0
新潟北	4	78.40	43	41	0	-2
新潟中央	4	94.00	24	25	0	1
新潟万代	4	81.76	38	38	5	0
第3分区(6クラブ)	／	75.84	122	119	6	-3
新津	4	70.84	18	18	0	0
村松	4	84.09	11	10	0	-1
五泉	4	79.00	17	14	1	-3
白根	4	86.11	37	37	2	0
新津中央	4	72.51	29	30	2	1
阿賀野川ライン	4	62.50	10	10	1	0
第4分区(11クラブ)	／	78.03	368	373	23	5
三条	4	89.68	57	60	0	3
燕	4	63.56	33	34	1	1
加茂	4	74.99	29	27	4	-2
三条南	3	89.14	48	50	3	2
分水	4	77.12	31	30	3	-1
見附	4	70.00	20	21	1	1
吉田	4	77.50	33	28	2	-5
三条北	4	83.33	64	65	2	1
巻	4	83.80	14	18	1	4
田上あじさい	4	78.60	7	7	1	0
三条東	3	70.57	32	33	5	1

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	4月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	／	89.16	314	321	23	7
長岡	4	86.97	39	48	1	9
柏崎	4	87.94	45	43	0	-2
長岡東	4	89.90	66	70	5	4
柏崎東	4	92.93	50	45	4	-5
栃尾	4	96.15	21	22	0	1
長岡西	4	83.48	57	57	5	0
柏崎中央	3	86.78	36	36	8	0
第6分区(6クラブ)	／	79.55	154	158	11	4
十日町	4	93.37	34	34	3	0
小千谷	3	64.37	38	39	5	1
雪国魚沼	4	70.20	25	27	2	2
十日町北	3	86.11	23	24	0	1
津南	4	84.25	27	27	1	0
越後魚沼	4	79.00	7	7	0	0
第7分区(8クラブ)	／	81.89	320	341	26	21
高田	4	98.14	66	67	0	1
直江津	3	80.70	48	63	5	15
新井	4	85.83	29	31	3	2
糸魚川	4	67.90	42	43	3	1
高田東	4	71.80	38	39	3	1
糸魚川中央	4	82.14	34	35	0	1
頸北	4	82.10	14	15	1	1
越後春日山	4	86.50	49	48	11	-1

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,083	人
4月末 会員数	2,134	人
女性会員数	145	人
純増減会員数	51	人
当月平均出席率	82.26	%



■嬉しいニュース



去る4月27、28日イタリアのターラントで、イアン会長主催の平和会議(母子の健康)が開催されました。その席で偶然、財団学友(2006~2008年)の澤屋奈津子さんにお会いしました。彼女は2760地区名古屋大須ロータリークラブをスポンサーに持つ、活発な女性活動家です。現在はアフリカのニジェールに住み、現地で仕事に励まれています。彼女とは、昨年アトランタ大会で名刺交換をして我が地区出身と知り、親近感を覚え家内と3人で30分くらいお喋りをしたので、今回の再会は3人で抱き合って喜びました。しかし、平和フェローなど海外で働く学友の中には精神的に病む者、就職先が決まらない者など、新たな課題となっています。社会に出てからも彼等と連絡を取り合い相談相手となって、彼等の志を頓挫させないようにしたいものです。

国際ロータリー 理事 斎藤直美

■ロータリーの評価は毎日の行動

ロータリアンは、ロータリーをどのように思い、感じて、どう行動していきたいのでしょうか。もちろん人それぞれ思いも違いますし、行動していきたい内容も異なります。しかしロータリアン以外の人はクラブもロータリアンも同質とみています。全体像がいわゆるロータリーの中核的価値観に合致すれば公共イメージと認知度につながります。自分たちの土俵であるロータリーを良くすることは自分自身をさらに高めることができます。それにはロータリーを学ぶことです。日常生活において、物事に興味をもって取り組むと、さらに楽しむことが多いことと同じだと思います。

公共イメージと認知度の向上は、いわゆるブランディングであります。ロータリアンに気づくいろんな伝統・行事があります。古い歴史がありますが、その時代時代において人々が引き継ぎ、さらに良いものに変えてきたものが残っているわけです。今世紀に増加しているボランティア団体の中に、ロータリークラブが存在しているその重要性、良さを実感できるためには、一人一人がどうロータリークラブに貢献できるか、仲間と楽しめるかを考えていくことだと思います。そして、ロータリーが他の人から評価されるのは、ロータリアン個々の毎日の行動や発言によるものが大であると自覚することが必要であると私は思います

第2ゾーン ロータリーコーディネーター 田中正規



■なぜ、公共イメージの向上が必要か

「ロータリーはこの14年間、会員が増えていない。クラブ数は15%増えているがバケツから水が漏れている状態だ」これは私がこの3月に参加したエバンストンの研修であるモデレーターから聴いた言葉である。RIの危機感をひしひしと感じた。多額の費用をかけたアンケートの結果、ロータリーを知る人が意外と少なく、また知っていてもその活動についてほとんど知られていなかった。改めて今「ロータリーとは何か」「ほかの団体とどう違うのか」「なぜロータリーが必要なのか」が私たちロータリアンに一人ひとりに問われている。

2011年にRIはロータリーの公共イメージ向上を目的とした数年間の取り組みを開始した。その目的はロータリーに対する理解を促進すること、また現会員や入会見込者、寄付者、戦略パートナーのモチベーションを高め行動を促すことである。近年、戦略計画の1つの「公共イメージと認知度の向上」について「世界を変える行動人」キャンペーンが推進されている。

これは従来のロータリーと一般社会とのコミュニケーションのあり方を見直すもので長期的かつ「私たちが何者であるかを伝えるキャンペーン」である。具体的にはロータリーのアイデンティティ(ロータリーらしさ)を共通のビジュアルを用い、様々な活動の行動に焦点を当て、かつ「物語」(ストーリー)に仕立て社会に発信しようというものである。クラブの活動・文化をストーリーにしてSNSなどで発信することで社会から共感を得る狙いがある。確かに人は物語から学び感動する。この点においてホームページの見直しも必要ではないか。そこに共感を呼ぶストーリーがあるか。写真1枚にも活動するロータリアンの姿が生き生きと映し出されているか。行動を呼びかけるものになっているかどうか。ご検討をお願いする次第である。

第2ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 柳生好春

■公共イメージ向上につながる三つの基本

本年度第3ゾーンでは、各クラブと地区の公共イメージ向上につながる三つの基本的な活動の推進に取り組みました。一つはロータリー活動のマスメディアを通じた広報活動のルーティン化、二つ目は会員の「My Rotary」への登録率アップ、三つ目は「Rotary Club Central」への各クラブの入力と、活用率のアップでありました。二つ目と三つ目の目標は今期かなりの前進が見られましたが、広報活動は地区によっては進展が見られるものの、次年度は更なる新たな戦略が必要です。各地区リーダーの皆様のご協力を引き続き宜しくお願い致します。

第3ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 横山守雄

■今年度スタート時のアンケートから

地区リーダーの皆さんは「魅力あるクラブ、個性的なクラブを目指すことがクラブの活性化に繋がり『退会防止』『会員増強』に効果を発揮する」とお考えでしたので、目的達成支援の為に地区別専任担当のARCの方々から、より具体的な情報ときめ細やかな施策を提供させて頂きました。地区・クラブの環境などの違いから画一的な支援では対応しきれないことを改めて感じ、専任担当制は効果があったのではと結果に期待しております。高島・伊藤・穴井ARCの地道なご努力とご協力に心より感謝申し上げます。

第3ゾーン ロータリーコーディネーター 若林紀男

■お陰様をもちまして地区ガバナーをはじめ、関係者の皆様のご協力により2017-18年度の国内3ゾーン合同のコーディネーターニュースは年度最終号(6月号)をお届けすることができました。2018-19年度も引き続き発行を予定しておりますのでよろしくお願い致します。地区において私どもコーディネーターがお役に立つことがあれば遠慮なくもよりのコーディネーターにお申し付け下さい。

編集担当 第1ゾーン ロータリーコーディネーター 酒井正人



さいたま大空RCが5周年を迎えました

4月15日、第2770地区さいたま大空ロータリークラブの創立5周年記念式典が行われ、大貫 等ガバナーをはじめとするロータリアンや学友、総勢約80人が若いクラブの節目を祝いました。

同クラブは、財団学友と米山学友を会員とする世界初のクラブ。記念式典は、米山学友のマヘーシ ダサナーヤカ会長（1995-97/吉川RC）の出身国、スリランカの伝統に由来する儀式や舞踊で幕を開け、地区クラブ拡大特別委員長の田村亮夫パストガバナーや特別代表の恵川一成氏らが、これまでのあゆみを振り返りました。

クラブでは毎年「春節を祝う会」を開き、日本の子どもたちへ海外文化を学ぶ場を提供しているほか、ミャンマー・ネパール・スリ

ランカへの教育・識字率向上プロジェクトを実施しています。

次年度会長は米山学友のシュレスタ・ラジャン・クマルさん（2011-12/大宮南RC）。同地区の国際奉仕活動を牽引するクラブとなるよう、大きな期待が寄せられています。



博士号取得状況 - ぜひ世話クラブでお祝いを -

2017 学年度（2017 年 4 月～2018 年 3 月）に博士号を取得した奨学生・学友は 42 人、累計では 3,657 人となりました（5 月 10 日現在）。米山記念奨学会では、博士号を取得した奨学生・学友へお祝いの腕時計をお贈りしています（奨学期間終了後の取得でも申請可）。ご報告をお待ちしています。

※発送先は原則として世話クラブです。ぜひ世話クラブ例会で贈呈してください。

申請方法

「学位記の写し」か「学位取得証明書」を世話クラブ経由で米山奨学会へ FAX またはメールでお送りください。

FAX : 03-3578-8281

eメール : scholars@rotary-yoneyama.or.jp



文字盤の裏にお名前が入ります

50周年記念誌・記念ネクタイ、大好評頒布中！

財団設立 50 周年を記念して制作した『50 周年記念誌』および記念ネクタイ 3 種を 2017-18 年度から好評頒布中です。記念誌は 1 冊 1,800 円、ネクタイは 1 本 2,500 円（チーフ付）です。

当会HPからお申し込みいただくか

(<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/50th>)、FAX にて申込書をお送りください。



モンゴル米山学友会が総会開催 - 新役員を選任 -

モンゴル米山学友会の第5回総会が4月21日に開催され、学友18人が参加しました。活動報告・経理報告につづき、「2017年度最優秀会員賞」としてオユンメチグ・アマルトゥブシンさん（2004-05／弘前東RC）が表彰されました。また、役員の変更が行われ、これまでのシルネ



ン・ブヤンジャルガル会長から、新会長としてオイドブ・バトゲレルさん（2005-07／前橋RC）が就任しました。

5月1日には早速、第1回例会が開かれ、参加者23人が自己紹介や抱負を述べたあと協議を行い、理事11人を決定しました。

世界大会 in モンゴルが2019年7月27日に開催されます！

昨年開催された「感謝 in 熊本」のように、米山学友とロータリアンが大集合する親睦会が2019年に予定されています（主催：モンゴル米山学友会実行委員会）。モンゴルに行きたい方、たくさんの学友・ロータリアンに会ってみたい方、ぜひご予約に入れておいてください♪

実行委員長：ジャンチブ・ガルバドラッハ 幹事：ナサンバヤル・ボロルマー

米山翁の合同墓参 - 東京学友会・第2590地区学友会 -

ロータリー米山奨学生学友会（東京）（以下、東京学友会）と第2590地区米山学友会が4月14日、合同で米山梅吉翁の墓参に、横浜市鶴見区の総持寺を訪れました。

東京学友会では昨春、初めて同墓所の清掃ボランティアを実施。その後、全国米山学友会会長セミナーでの交流をきっかけに、今年は総持寺の地元である第2590地区米山学友会と合同で活動を行うこととなりました。当日は、両地区のロータリアン・学友の計21人が参加し、墓所の清掃と総持寺見学の後、米山梅吉翁の墓前に手を合わせ、



昼食会で交流を深めました。東京学友会の梁一強会長は「互いに知り合い、交流できたのは、米山梅吉翁がいたからこそ。奨学期間が終わっても、このような活動ができる環境があれば、米山の輪から離れることはありません」。また、第2590地区学友会のジャンマニーガム・アモンサク会長も「お墓を清掃して、皆の心がとても穏やかになりました。東京学友会

の活動や総会の内容を聞くこともでき、大変参考になりました」と、それぞれ今回の合同イベントを実施した意義を語ってくれました。

寄付金速報 - 50周年度も残り2カ月 -

4月までの寄付金は前年同期と比べて6.4%増（普通寄付金：0.5%増、特別寄付金：9.7%増）約7,700万円の増加となりました。4月は大口寄付が多かったことなどもあり、先月よりも更に好調な状態で推移しています。ご寄付を

いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。本年度も残すところ2カ月を切りました。まだ普通寄付金をお送りいただいていないクラブは、お早目に送金くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成30年5月25日

ガバナーエレクト各位

ロータリー文庫運営委員会
委員長 大塚信郎

拝啓

新緑の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。また常々文庫へのご協力を心から感謝致しております。
このたびは、下記9点をご紹介しますので「ガバナー月信」にご掲載下さるようお願い致します。
なお今後ともご活躍とご成功を心からお祈り致します。

敬具

追伸 下記ご掲載の場合は〔申込先〕もご記載下さるようお願い致します。

文庫通信 (369号)

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近の文献より

- ◎ 「回首原点ーロータリーの心を尋ねて(その7)」
佐古亮尊 大村北R.C. 2011 224p
 - ◎ 「ロータリーの心をたずねて」 富田英壽 2017 104p
 - ◎ 「“ロータリー” 原点への回帰(IM記録誌)」 龍野R.C. 2018 48p
 - ◎ 「横浜港北ロータリークラブ早わかりー新会員、3年未満の会員用教材」
横浜港北R.C. 2017 76p
 - ◎ 「第28回ローターアクト研修会並びに第13回アジア太平洋地域ローターアクト会議大会報告書」 D.2650R.A.C. 2017 33p
 - ◎ 「社会奉仕委員会2016～2017年度事業報告集」 D.2650 [2017] 184p
- 〔上記申込先：ロータリー文庫〕
- ◎ 「DVD/先生、ありがとう」 監督・脚本・演出：鈴木一作 寒河江RC
2012 105分 [申込先：D.2800 TEL(0237)85-1882]
 - ◎ 「純ちゃんのコーナー(ロータリー3分間情報) PartXVI」 深川純一
伊丹R.C. 2017 55p [申込先：伊丹R.C. FAX(072)775-1223]
 - ◎ 「ロータリー財団ハンドブック(改訂第4版)」 ロータリー情報研究会
2018 184p [申込先：ロータリー情報研究会 FAX(050)3730-5737]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日